

Lenovo XClarity Controller(XCC) 操作ガイド

レノボ・エンタープライズ・ソリューションズ合同会社

2020/07/10





Contents

概要

- [XCCとは](#)
- [業界標準の規格Redfish](#)
- [機能別一覧とIMM2との比較](#)
- [アップグレード・パス](#)
- [インターフェース](#)
- [サポートされているブラウザ](#)

基本設定

- [管理IPアドレスの設定](#)
- [ログイン画面](#)
- [ダッシュボード](#)
- [ユーザー・プロファイルの追加](#)
- [ファームウェアの更新](#)
- [ネットワークの設定](#)
- [FoDライセンスの概要](#)
- [ライセンス・アップグレード](#)
- [システムの監視概要](#)
- [前面パネルUSBの設定](#)

- [メール通知](#)
- [SNMP設定](#)
- [RAIDセットアップ](#)
- [構成のバックアップ](#)
- [構成のリストア](#)

運用・管理

- [運用管理方法の概要](#)
- [システムの電源操作](#)
- [リモート・コントロール操作](#)
- [ISO,IMGイメージのマウント](#)
- [最新のブート・ビデオ](#)
- [直近に障害画面表示](#)
- [システムのインベントリ](#)
- [システムのハードウェア・ログ](#)
- [使用率](#)
- [電源ポリシー](#)
- [XClarity Mobileアプリによる管理](#)
- [サービス・データのダウンロード](#)
- [管理ポートのフェイルオーバー設定](#)





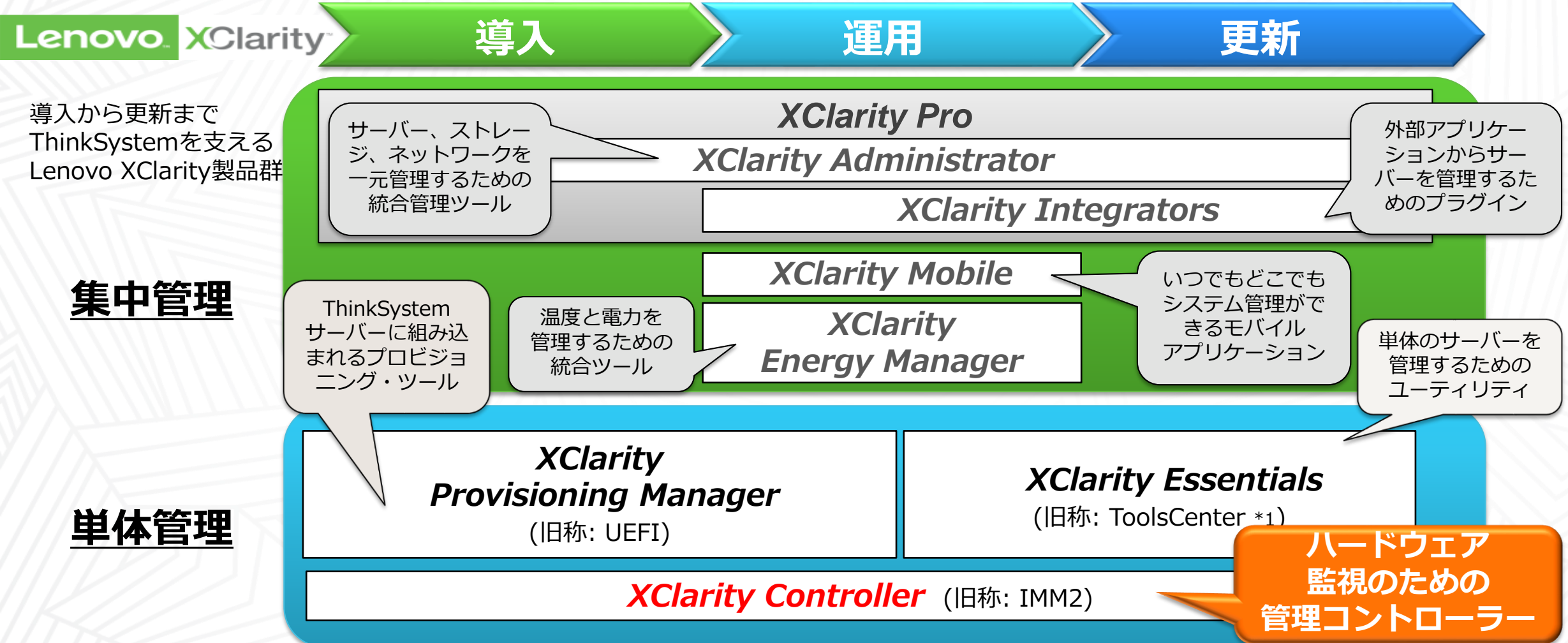
Lenovo XClarity™ Controller

概要



Lenovo XClarity Controller (XCC) とは

- Integrated Management Module II (IMM2) サービス・プロセッサの後継です。
- システムの根幹を支えるインフラストラクチャ・ソフトウェアであり
Lenovo ThinkSystem サーバー向けの次世代の管理コントローラーです。





Lenovo XClarity™ Controller オープンな管理環境の構築へ

■ システム相互運用における業界標準の規格であるRedfish REST APIをサポート

業界標準のRedfishをサポートします。

Redfishを利用して管理環境を構築することにより、管理体系や世代の異なるサーバーを意識せず一元的に管理することが可能です。

- Redfishに準拠した REST API
 - XClarity Controller (XCC) のWebインターフェースにある機能を、REST APIを通して利用可能
- Lenovoは業界標準の作成と採択をリード
 - DMTF理事会の一員
 - DMTFワークグループとコミッティの共同議長
 - オープンな業界標準をThinkSystemで採用



機能		IMM2		Lenovo XClarity Controller(XCC)		
		Standard	Advanced	Standard	Advanced	Enterprise
インターフェース	Webブラウザからの管理、CIM、IPMI、SSH	○	○	○	○	○
	SNMP v1	○	○	△Trapのみ	△Trapのみ	△Trapのみ
	SNMP v3	○	○	○ ※1	○ ※1	○ ※1
	Syslog	○	○	×	○	○
	Telnet	○	○	×	×	×
	WS-MAN (Webサービス管理プロトコル)	○	○	×	×	×
	Redfish準拠のREST API	×	×	○	○	○
ユーザー認証	LDAPによるユーザー認証	○	○	○	○	○
インベントリ / モニタリング	資産管理、保守、ヘルス情報、パフォーマンス、診断のためのハードウェア環境の情報収集	○	○	○	○	○
診断	OSハングアップ時の画面取得	×	○	○	○	○
	ブート・キャプチャ機能	×	×	×	×	○
構成	プラットフォームの構成、グラフィカルなBIOS構成	△ ※2	△ ※2	○	○	○
	OS導入のための基本的なRAID構成	×	×	○	○	○
更新	UEFI, XClarity ControllerやOS導入のための関連ドライバパッケージの更新	△ ※3	△ ※3	○	○	○
設定保存と展開	UEFIやXClarity Controller, RAID構成のクローン USBやネットワーク上のファイルへの設定保存 既存設定ファイルを利用した構成適用	△ ※4	△ ※4	○	○	○
消費電力	電源メーター	○	○	○	○	○
	電源キャッピング	×	×	×	×	○
	Lenovo XClarity Energy Managerライセンス	×	×	×	×	○
遠隔コントロール	SSH 経由のシリアル・リダイレクト	○	○	×	○	○
	GUIベースのKVM機能	×	○	×	○	○
	リモート・セッション内でのユーザー間の協業(最大6人)	×	×	×	×	○
	ISO/IMGファイルのマウント	×	○	×	×	○
	モバイルによるローカル・サーバー管理	×	×	○	○	○

※1…SNMP setは実装されていません ※2…グラフィカルなBIOS構成はありません ※3…ファームウェア更新の仕組みはありますがドライバパッケージは実装されていません ※4…RAID構成の保存やネットワークファイルへの書き出しは実装されていません



2段階のアップグレード・パス

2段階のアップグレードにより、求められる機能を適切なコストで実装できます
必要に応じて、後からアップグレードを追加することも可能です

FoD
ソフトウェア
キーによる
アップグレード

標準的な機能を提供

システム情報/ログの収集
RAID構成
ローカルOS導入等

スタンダード

**スタンダードに含まれる
すべての機能に加えて
以下の上位機能をサポート**

Syslogの利用
Serial Redirection
特定IPアドレスのブロック
リモートKVM等

アドバンスト

**アドバンストに含まれる
すべての機能に加えて
エンタープライズ・レベルの
以下の機能をサポート**

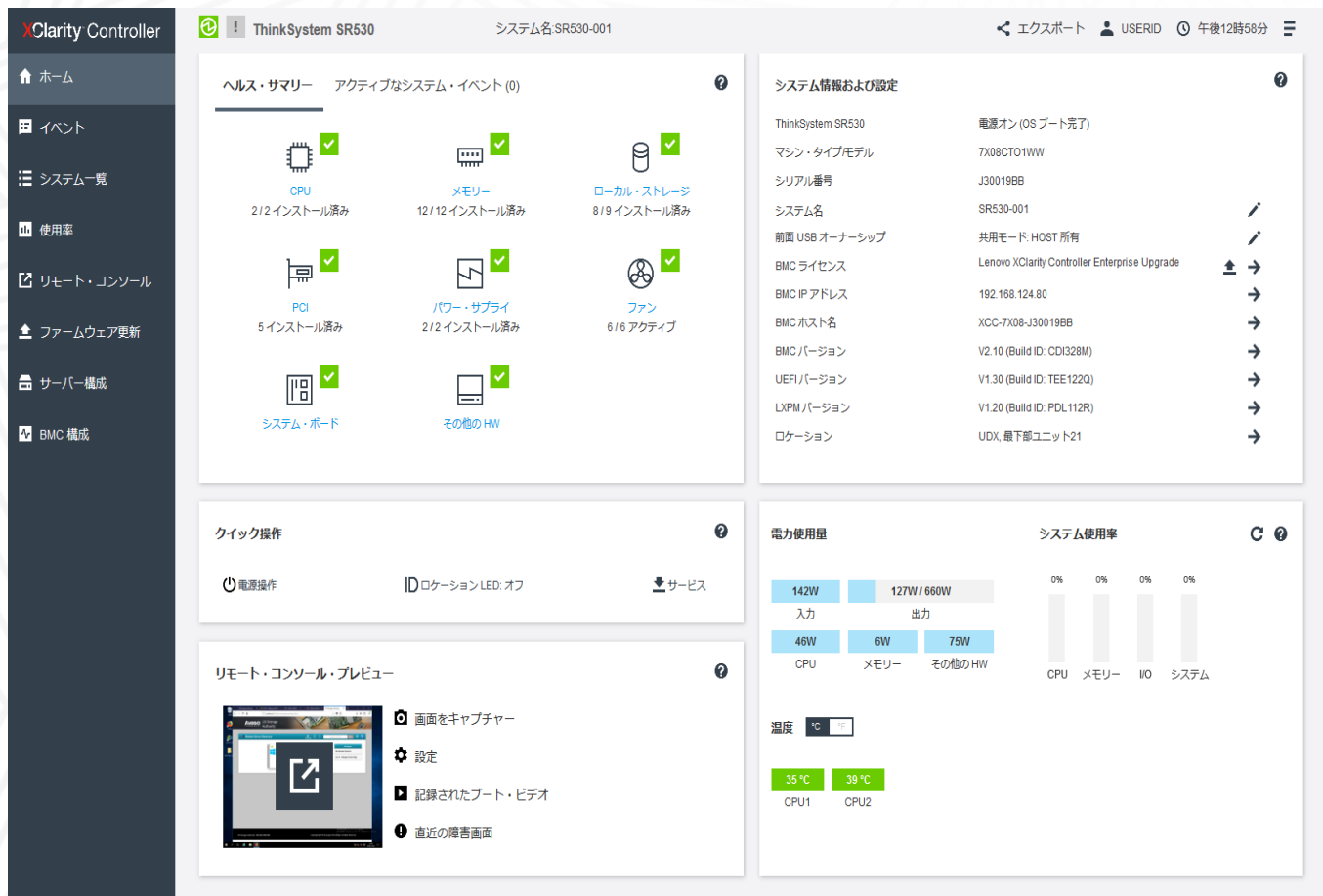
ブート・キャプチャ
ISOファイルのマウント
仮想コンソールコラボレー
ション
Energy Managerライセンス
パワー・キャッピング等

エンタープライズ



インターフェース

- Standardから（ThinkSystem全機種）Webインターフェースに対応しております



日本語対応

- ダッシュボード形式
- ステータスの一覧化
- よく使うアクションへの簡単なアクセス
- 基本操作は左側のメニューから行うことができます

CLIおよびモバイルアプリにも対応しております。



サポートされているブラウザ

- Chrome 48.0以上（リモート・コントロールは55.0以上）
- Firefox ESR 38.6.0以上
- Microsoft Internet Explorer 11(リモート・コントロールには11.0.9600.18499以上)
- Microsoft Edge
- Safari 9.0.2以上（IOS7以上およびOS X）

2019/6月時点での情報です。
バージョンアップによりサポートされるWeb
ブラウザのバージョンも更新されます。最
新情報はChange Historyをご参照ください。

注) リモート制御機能はモバイル・デバイスのオペレーティング・システム上のブラウザではサポートされません。




Lenovo XClarity™ Controller

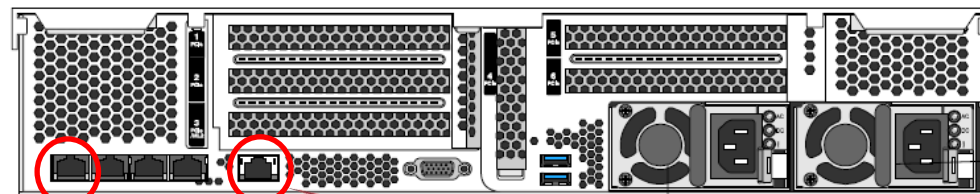
基本設定



管理用IPアドレスの設定

- サーバーの電源をOnにしThinkSystemのロゴ画面が表示された画面にてF1キーを押してXClarity Provisioning Managerに入ります
- 言語設定ボタンを押して日本語を指定します
- 「はじめに」を表示し「管理ネットワークの基本構成」にてIPアドレスを設定します

■ ネットワーク・インターフェース・ポート



共用ポート
Ethernetポートのいずれか1つのポートが共用ポートになります。SR650では一番左です。

Dedicated Port 管理ポート

ThinkSystem SR530
-[7X08CT01WW]-

XClarity Provisioning Manager

ヘルプ
ホットキー
はじめに
製品情報

基本システム設定

システム日付: 2018 12 04
システム時刻: 15 05 47
言語: 日本語

管理ネットワーク基本構成

ネットワーク・インターフェース・ポート: **Dedicated Port** ホスト名: C-7X08-J30019BB

IP アドレス: 192.168.124.80 サブネット・マスク: 255.255.255.0

デフォルトのゲートウェイ: 192.168.124.90

BMC 資格情報

現在のユーザー名: USERID

新しいユーザー名: 現在のパスワード:

新しいパスワード: パスワードの確認:

適用 スキップ

管理ポートのフェール・オーバーやVLAN設定など詳細設定は「UEFIセットアップ」-「BMC設定」から行うことが可能です。

XCC内部ポートの IPアドレスは「169.254.95.118」に設定されておりRNDIS Network Deviceを介してローカルのOS上のWebブラウザから接続することも可能です。



- Webブラウザから、設定したIPアドレスにアクセスします

サポートされているブラウザ

日本語

XClarity Controller

USERID

.....

ログイン

Lenovo

SR530-001
ThinkSystem SR530

システム・イベント	イベントなし
マシン・タイプ	7X08
シリアル番号	J30019BB
電源状態	オン
BMC IP	192.168.124.80
ロケーション	UDX, 最下部ユニット21

ThinkSystem

Licensed Materials - Property of Lenovo. © Copyright Lenovo and other(s) 2019.
Lenovo is a trademark of Lenovo in the United States, other countries, or both.

日本語を
選択

- デフォルトのユーザーID

USERID

- デフォルトのパスワード

PASSWORD
(0はゼロです)

XCCのFirmwareバージョン3.0よりデフォルトのパスワードポリシーが変更になりました。最初にパスワードの変更を求められ最低10文字以上、大文字、小文字、数字、記号のうち3種を含めなければなりません。パスワードポリシーはログイン後に変更可能です。



ダッシュボード

- ホーム画面はダッシュボードとなっておりよく利用する情報が1画面に表示されております。

The screenshot shows the XClarity Controller interface for a ThinkSystem SR530 server. The main dashboard is divided into several sections:

- ヘルス・サマリー (Health Summary):** Displays the status of various components with green checkmarks indicating they are installed or active.

CPU 2/2 インストール済み	メモリー 12/12 インストール済み	ローカル・ストレージ 8/9 インストール済み
PCI 5 インストール済み	パワー・サブライ 2/2 インストール済み	ファン 6/6 アクティブ
システム・ボード	その他の HW	
- システム情報および設定 (System Information and Settings):** Lists system details such as model (ThinkSystem SR530), serial number (J30019BB), and BMC version (V2.10).
- クイック操作 (Quick Actions):** Includes buttons for power operation, LED control, and service.
- 電力使用量 (Power Usage):** Shows a bar chart for input (142W) and output (46W) power, and system usage rates for CPU, memory, I/O, and system.
- リモート・コンソール・プレビュー (Remote Console Preview):** Offers options to capture the screen, view settings, boot logs, and recent error messages.

- **ヘルス・サマリー**
 - ハードウェアの状態表示
- **システム情報および設定**
 - サーバーのマシントップ/シリアルやFirmwareのバージョン
- **クイック操作**
 - 電源ON/OFFなど
- **リモート・コンソール (Advanced以上で利用可能)**
 - サーバー画面のキャプチャーやリモート操作
- **使用量**
 - 電力使用量、システム使用率、温度



ユーザー・プロファイルの追加

- 「BMC構成」－「ユーザ/LDAP」を選択します
- 「+ 作成」ボタンを押します
- ユーザー名、パスワード、権限レベルを入力して「適用」ボタンを押します

ThinkSystem SR530 システム名:SR530-001

ローカル・ユーザー LDAP ログオンを許可: ローカルのみ

1/12 ローカル・ユーザー **+ 作成** 共通設定

ユーザー資格情報と権限 ?

ユーザー名: USER1 ✓

パスワード: ✓

パスワードの確認: ✓

権限レベル: スーパーバイザー (スーパーバイザー, 読み取り専用, カスタム)

適用 キャンセル

名前 アクセス 高度な属性 パスワードの有効期限 アクティブ・セッション アクション

USERID	スーパーバイザー	ネイティブ	無期限	192.168.124.15(Web-HTTPS) 192.168.124.101(Web-HTTPS)	
--------	----------	-------	-----	---	--

パスワードが規則を満たしていないと!となります。✓にならないと適用ボタンが押せません。規則(最小文字数など)は作成ボタンの隣の「共通設定」ボタンで変更可能です。

デフォルトのユーザー「USERID」は削除できませんのでセキュリティのためにはパスワードを変更しておいて下さい。



ファームウェアの更新



- 現在のファームウェアのバージョンの一覧が表示されております
- サーバー・ファームウェアだけでなくアダプターのファームウェアの更新も可能です
- 右上の「ファームウェアの更新」ボタンを押すとウィザードが開始します
- ファイル選択画面では有効なファイル拡張子が表示されております

システム名: SR530-001

タイプ	ステータス	バージョン	Build	リリース日
BMC (プライマリー)	アクティブ	2.10	CDI328M	2018-09-12
BMC (リバックアップ)	非アクティブ	1.40	CDI314F	2017-10-28
UEFI	アクティブ	1.30	TEE122Q	2018-02-07
LXPM	アクティブ	1.20	PDL112R	2018-01-30
LXPM Windows ドライバー	アクティブ	1.20	PDL312R	2018-01-30
LXPM Linux ドライバー	アクティブ	1.20	PDL212S	2018-01-31

アダプター・ファームウェア

このページには、BMC 経由で更新できるファームウェアのみがリストされています。ここにリストされていないアダプターの場合は、Lenovo XClarity Essential を使用してファームウェアを更新できます。
注: システムがブートして、F1 Setup または OS が起動するまでお待ちください。

スロット番号	デバイス名	ステータス	バージョン	製造元	リリース日
1	ThinkSystem RAID 930-8i 2GB Flash	アクティブ	50.3.0-1075	AVAGO Technologies	2017/12/27

PSU ファームウェア

スロット番号	バージョン
1	1.53
2	1.50

1 ファイルの選択 2 ファームウェアの検証 3 ファームウェアの更新

ファイルをアップロードしています / ファームウェアを比較しています ...

参照 Invgy_fw_lxpm_pdl106y-1.02_anyos_noarch.uxz

次へ キャンセル

- ダッシュボードからのアクセス
- ◆ 「BMC バージョン」の ➡ ボタン
- ◆ 「UEFIバージョン」の ➡ ボタン
- ◆ 「LXPMバージョン」の ➡ ボタン

システム情報および設定

ThinkSystem SR530

電源オン (OS ブート完了)

マシン・タイプ/モデル 7X08CT01WW

シリアル番号 J30019BB

システム名 SR530-001

前面 USB オーナーシップ 共有モード: HOST 所有

BMC ライセンス Lenovo XClarity Controller Enterprise Upgrade

BMC IP アドレス 192.168.124.80

BMC ホスト名 XCC-7X08-J30019BB

BMC バージョン V2.10 (Build ID: CDI328M)

UEFI バージョン V1.30 (Build ID: TEE122Q)

LXPM バージョン V1.20 (Build ID: PDL112R)

ロケーション UDX_最下部ユニット21





ネットワークの設定

- 「BMC構成」－「ネットワーク」からアクセス
 - 変更すると「適用」ボタンが表示されますので押して下さい。

- ダッシュボードからのアクセス
 - 「BMC IPアドレス」の ➡ ボタン

The screenshot displays the XClarity Controller interface for a ThinkSystem SR530 system. The left sidebar contains navigation options, with 'BMC構成' and 'ネットワーク' highlighted in red. The main content area is divided into two sections: 'イーサネット構成' (Ethernet Configuration) and 'DNS および DDNS' (DNS and DDNS). In the 'イーサネット構成' section, the 'IPv4 アドレス' (IPv4 Address) field is highlighted with a red box, showing the value '192.168.124.90'. Below it, the 'IPv4 アドレス' table lists the address, network mask, and default gateway. The 'IPv6' section is also visible but not highlighted. The 'DNS および DDNS' section shows the 'DNS' status as '自動有効化' (Automatic Enable) and the 'DDNS' status as '有効' (Enabled). The 'システム情報および設定' (System Information and Settings) panel on the right lists various system details, with the 'BMC IP アドレス' (BMC IP Address) field highlighted in red and a red arrow pointing to its edit icon.

IPv4 アドレス	有効
192.168.124.90	<input checked="" type="checkbox"/>

IPv6 アドレス	プレフィックス	有効
fe80::0a94:eff:fe4f:034f	64	<input type="checkbox"/>
::	0	<input type="checkbox"/>

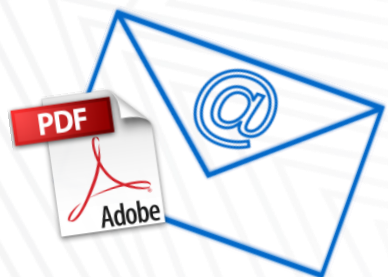
項目	値	操作
ThinkSystem SR530	電源オン (OS ブート完了)	
マシン・タイプ/モデル	7X08CTO1WW	
シリアル番号	J30019BB	
システム名	SR530-001	✎
前面 USB オーナーシップ	共有モード: HOST 所有	✎
BMC ライセンス	Lenovo XClarity Controller Enterprise Upgrade	⬆️ ➡️
BMC IP アドレス	192.168.124.80	➡️
BMC ホスト名	XCC-7X08-J30019BB	➡️
BMC バージョン	V2.10 (Build ID: CDI328M)	➡️
UEFI バージョン	V1.30 (Build ID: TEE122Q)	➡️
LXPM バージョン	V1.20 (Build ID: PDL112R)	➡️
ロケーション	UDX, 最下部ユニット21	➡️



FoDライセンスの概要

- XCCでは、追加ライセンスFoD (Features on Demand)ソフトウェア・ライセンス・キーを適用することにより各種機能を追加することが可能になります。
- ライセンス：スタンダード ➡ アドバンス ➡ エンタープライズ

Authorization Code(PDF
ファイル)がメールにて
納品されます



Lenovo鍵管理サイト



Authorization Codeとマシンタイプ/
シリアル・ナンバーでキーを要求

キーを発行



ダウンロード
or メール

キーを登録



XCC Webインターフェース

- アクティベーション・キー・ファイルの入手方法の詳細に関しましては、Lenovo Features on Demand (FoD) ライセンス・アクティベーション・ガイド <http://www.lenovojp-cms.com/cmscontents/gdfiles.php?md=508> を参照ください。ここでは、アクティベーション・キー・ファイルの適用方法について案内します。



ライセンス・アップグレード (FoDの適用)

- 「BMC構成」 - 「ライセンス」 からアクセス
- 「ライセンスのアップグレード」 ボタンを押すとファイル指定画面が表示されますのでKeyファイルを指定して「インポート」 ボタンを押します

- ダッシュボードからのアクセス
- ◆ 「BMCライセンス」の ➡ ボタン
- ◆ ⬆️ ボタンを押して直接Keyファイル指定

The screenshot shows the XClarity Controller web interface. On the left sidebar, 'BMC構成' and 'ライセンス' are highlighted with red boxes. The main content area shows 'ライセンス管理' with a table of licenses and a 'ライセンスのアップグレード' button highlighted with a red box. Below the table, a dialog box titled '新規ライセンスを追加しますか?' is open, showing a file path 'Invgy_fod_0035_7..._anyos_noarch.key' and 'インポート' and 'キャンセル' buttons.

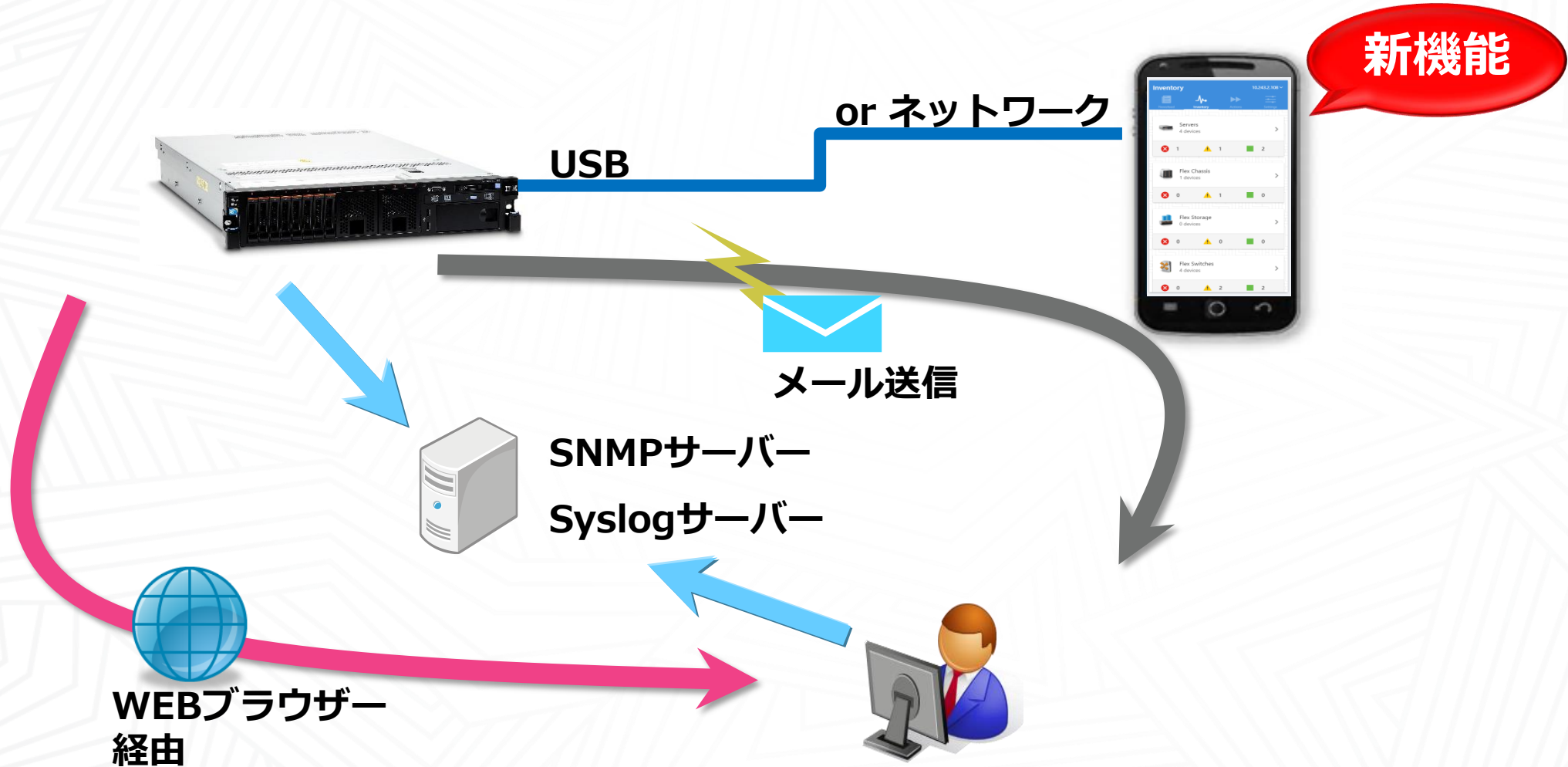
ディスクリプター・タイプ	フィーチャーの説明	固有 ID	制約	ステータス
○ 53	Lenovo XClarity Controller Enterprise Upgrade	7X08J30019BB	制限事項なし	✔️ ライセンス・キーは有効です
○ 52	Lenovo XClarity Controller Advanced Upgrade	7X08J30019BB	制限事項なし	✔️ ライセンス・キーは有効です

The screenshot shows the XClarity Controller dashboard. On the right, the 'システム情報および設定' section is visible. The 'BMC ライセンス' entry is highlighted with a red box, showing 'Lenovo XClarity Controller Enterprise Upgrade' and a red box around the edit/delete icons. Below this, the '電力使用量' and 'システム使用率' sections are visible.

項目	値
ThinkSystem SR530	電源オン (OS ブート完了)
マシン・タイプ/モデル	7X08CTO1WW
シリアル番号	J30019BB
システム名	SR530-001
前面 USB オーナーシップ	共用モード: HOST 所有
BMC ライセンス	Lenovo XClarity Controller Enterprise Upgrade
BMC IP アドレス	192.168.124.80
BMC ホスト名	XCC-7X08-J30019BB
BMC バージョン	V2.10 (Build ID: CDI328M)
UEFI バージョン	V1.30 (Build ID: TEE122Q)
LXPM バージョン	V1.20 (Build ID: PDL112R)
ロケーション	UDX, 最下部ユニット21


+ システムの監視概要

- リアルタイムにシステム・ステータスを確認したり、イベント・ログを外部システム管理ツールと連携を行うことが可能です
- スマートフォンのアプリが提供されております





前面パネルUSBの設定

- 前面パネルのUSBコネクタ  は接続先をサーバーとBMCで切り替えることができます
- 「BMC構成」－「ネットワーク」－「前面パネルUSB」

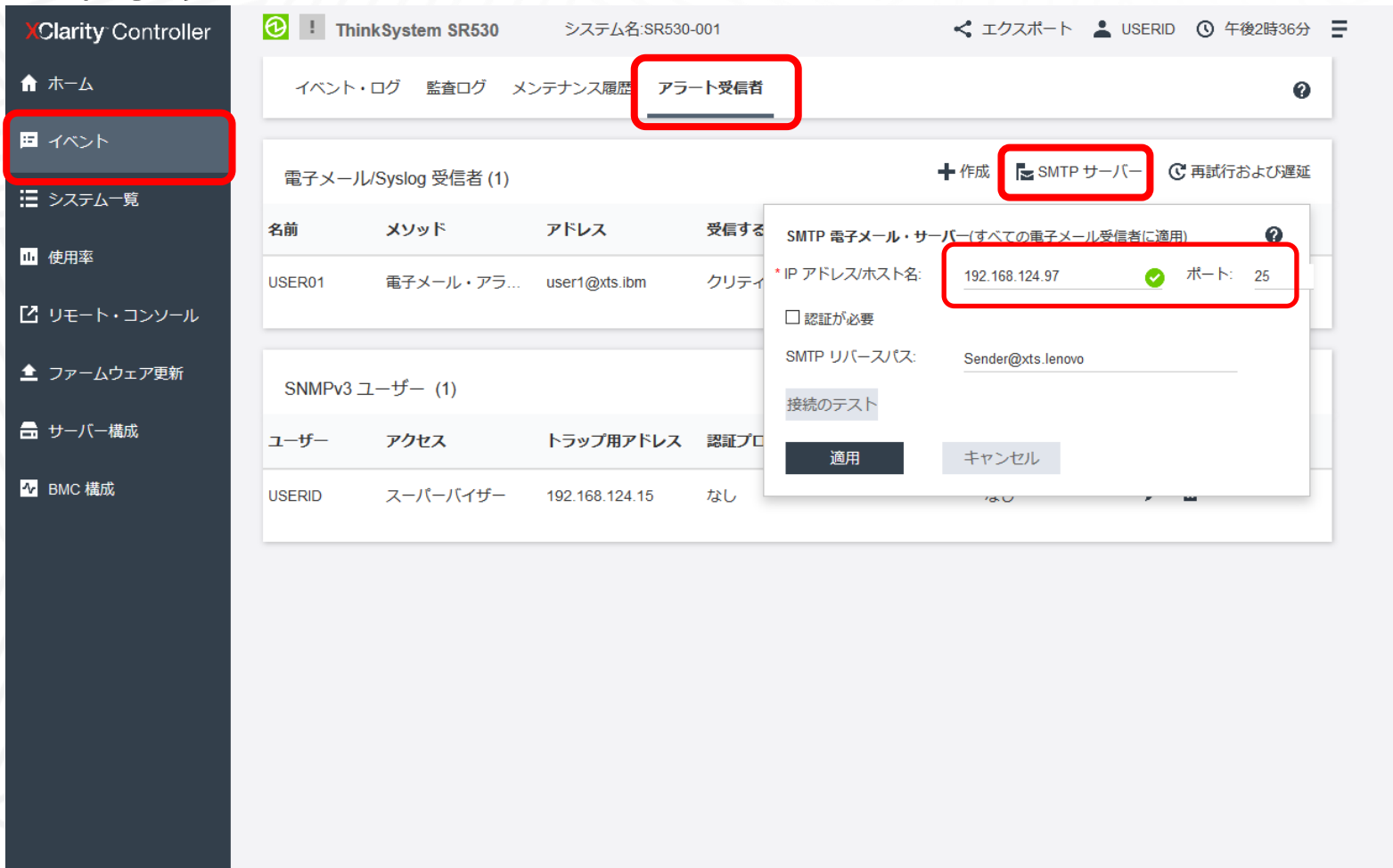


- **ホスト専用モード**
サーバー専用で通常のUSBポートと同じ扱いです。
- **BMC専用モード**
BMC専用となりスマートフォンを接続してBMCにアクセスできます。
- **共用モード**
サーバーの電源オフの場合はBMC接続となり、電源オンになるとサーバー接続となります。共用モードの場合はIDボタンを3秒以上長押しすることで接続状態を切り替えることができます。



メール通知 — SMTPサーバー設定

- 「イベント」 — 「アラート受信者」 — 「SMTPサーバー」
- 「認証が必要」にチェックをつけるとユーザー名、パスワード、認証方式の入力欄が表示されます



- IPアドレスもしくはホスト名が必須です
- ポート番号はデフォルト値：25です
- 「接続テスト」ボタンでテスト可能です。
- 「適用」ボタンを押して設定を保存します



メール通知 — メール受信者設定

「イベント」 — 「アラート受信者」 — 「+作成」 — 「電子メール受信者を作成」

The screenshot shows the XClarity Controller interface for a ThinkSystem SR530 system. The left sidebar has 'イベント' (Events) highlighted. The main area shows the 'アラート受信者' (Alert Recipients) section. A '+作成' (Create) button is clicked, opening a '電子メール受信者を作成' (Create Email Recipient) dialog. The dialog contains the following fields and options:

- * 受信者名: USER1 (checked)
- * 電子メール・アドレス: USER1@LENOVO.COM (checked)
- * ステータス: 有効 無効
- 索引: 1
- * イベント・タイプを1つ以上選択してください:
 - クリティカル
 - 警告
 - システム
 - 電子メール本文にイベント・ログの内容を含める
- Buttons: 適用 (Apply), キャンセル (Cancel)

Below the dialog, a table shows the created recipient:

名前	メソッド	アドレス	受信するイベント	ステータス	アクション
USER1	電子メール・アラ...	USER1@LENOVO...	クリティカル,警告,システム	有効	✎ 🗑️ 📧

■ 受信者名と電子メール・アドレスを入力します。

■ イベント・タイプはデフォルトではすべて選択されており、通知から外す場合はチェックを外します。

■ 「適用」ボタンを押します。

■ 登録済ユーザー・リストの右端の 📧 ボタンでテスト・メールを送信できます。



SNMP V3設定

- ロケーションと連絡先の設定が必須です
- 「サーバー構成」－「サーバー・プロパティ」
- 入力できたら「適用」ボタンを押します。

- 「BMC構成」－「ネットワーク」－「SNMPセットアップ」
- 「SNMPエージェントを有効にする」と「SNMPV3トラップを有効に設定」にチェックを付けます。

ロケーションと連絡先が未入力の場合はチェックを付けられません

ThinkSystem SR530 システム名:SR530-001

ロケーションと連絡先

連絡先: Lenovo

ラック名: _____ 部屋番号: _____

建物名: UDX 位置 (U): 21

住所: _____

サーバー・タイムアウト

OS ウォッチドッグ・タイマー: なし

ローダー・ウォッチドッグ: なし

電源オフ遅延: なし

サーバー・プロパティ

BMC 構成

ネットワーク

ThinkSystem SR530 システム名:SR530-001

SNMP セットアップ

* 連絡先: Lenovo

* ロケーション: UDX, 最下部ユニット21

SNMPV3 エージェントを有効にする 連絡先とロケーションを構成します。「サーバー構成」>「サーバーのプロパティ」に進みます

SNMPV3 ユーザーが構成されていません。「イベント」>「アラート受信者」に進みます

SNMPV1 トラップを有効に設定

SNMPV3 トラップを有効に設定

Trap Receiver Port: 162

クリティカル 警告 システム

サービスの有効化とポートの割り当て

Web	有効	80	
Web Over HTTPS	有効	443	✓
REST Over HTTPS	有効	443	
CIM Over HTTPS	有効	5989	✓

ネットワーク

SNMPトラップ受信者設定

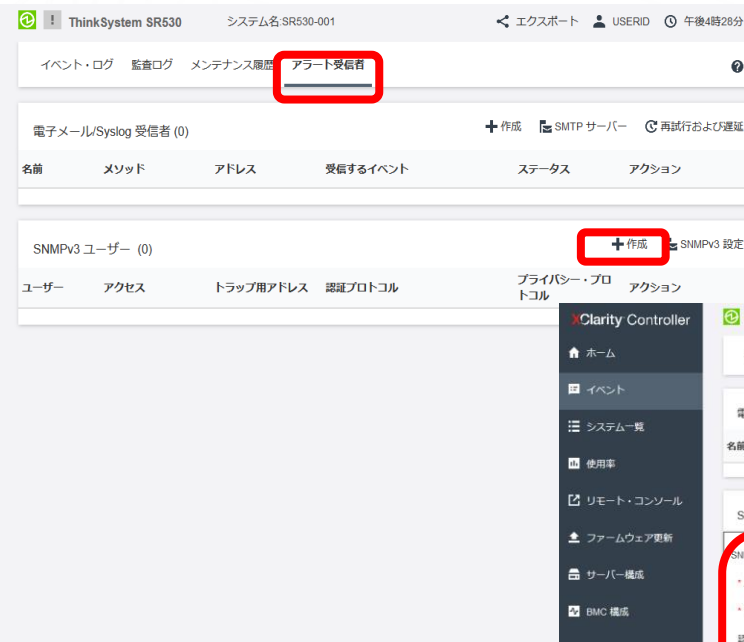
トラップ受信者はBMCローカル・ユーザーである必要があるため最初にローカル・ユーザーを登録します。

- 「BMC構成」 - 「ユーザー/LDAP」 - 「ローカル・ユーザー」
- 「+作成」ボタンを押します
- ユーザー名、パスワードを設定します
- 「適用」ボタンを押します

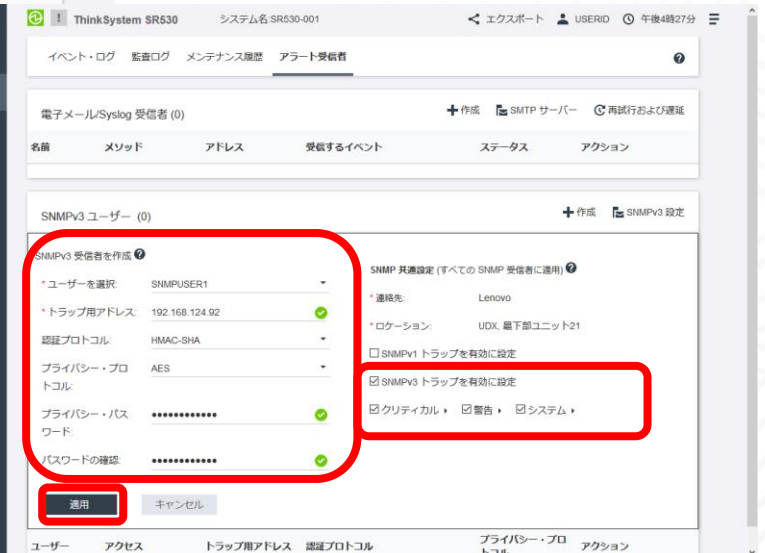


作成したBMCローカル・ユーザーにSNMPトラップ受信の設定を行います。

- 「イベント」 - 「アラート受信者」 - 「+作成」
- ユーザー選択で先程作成したユーザーを選択します
- トラップ用アドレス、プライバシー・パスワードを設定します
- 認証プロトコル：HMAC-SHA を選択します
- プライバシー・プロトコルを選択します



- プライバシー・パスワードを入力します
- 「SNMP v3トラップを有効に設定」にチェックを付けます
- アラートを受信するイベントの種類にチェックを付けます
- 設定後に「適用」ボタンを押します





RAIDセットアップ①

「サーバー構成」 - 「RAIDセットアップ」 - 「編集モードを有効にする」 - 「仮想ディスクの追加」

ThinkSystem SR530 システム名:SR530-001

アレイド構成 ストレージ・インベントリ

OS 実行中の RAID セットアップは慎重に行ってください。操作を誤るとデータが損失する恐れがあります。 **編集モードを有効にする**

コントローラー 1: ThinkSystem RAID 930-8i 2GB Flash (0) 仮想ディスク 作成されました

編集モードです。

コントローラー 1: ThinkSystem RAID 930-8i 2GB Flash (0) 仮想ディスク 作成されました

仮想ディスクの作成

「RAIDレベル」を選択し、RAIDのメンバーにするドライブにチェックを付けて「メンバーを追加」を押します。

RAIDのメンバーにするドライブが右側に移ったことを確認して「次へ」を押します。

ThinkSystem SR530 システム名:SR530-001

1 ディスク・ドライブディスク・アレイの選択 2 仮想ディスクの作成 3 要約

開始する: 新しいディスク・アレイに新しい仮想ディスクを作成する

RAIDレベルの選択: **RAID 5** RAID 5には最低3個のドライブ。(*)

ディスク・ドライブ	タイプ	容量	役割
<input checked="" type="checkbox"/> Drive 2	SAS	600.127GB	
<input checked="" type="checkbox"/> Drive 3	SAS	600.127GB	
<input checked="" type="checkbox"/> Drive 4	SAS	600.127GB	
<input type="checkbox"/> Drive 5	SAS	600.127GB	
<input type="checkbox"/> Drive 6	SAS	900.185GB	

メンバーを追加

未構成の正常なドライブ:


選択済みディスク・ドライブ:

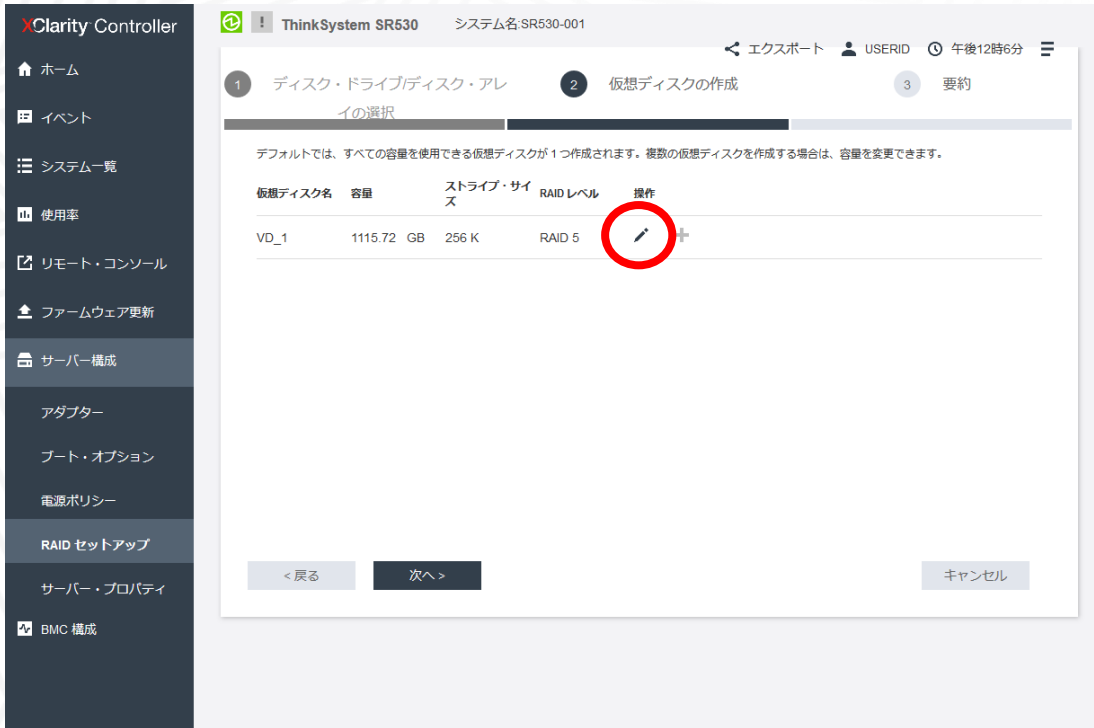
次へ >

※サーバーの電源がオンの状態で構成してください。RAIDコントローラーの認識が完了している必要がありますのでOSインストール前の状況ではF1セットアップで停止している状態にします。



RAIDセットアップ②

①  を押して仮想ディスクの詳細を確認し、必要であれば内容変更をします。




ThinkSystem SR530 システム名:SR530-001

1 ディスク・ドライブディスク・アレ **2 仮想ディスクの作成** 3 要約

この選択

デフォルトでは、すべての容量を使用できる仮想ディスクが1つ作成されます。複数の仮想ディスクを作成する場合は、容量を変更できます。

仮想ディスク名	容量	ストライプ・サイズ	RAIDレベル	操作
VD_1	1115.72 GB	256 K	RAID 5	

< 戻る 次へ > キャンセル

② 新規でRAIDを構成する場合は、デフォルト初期化を「高速」に変更して初期化を行うようにしてください。高速な初期化ですのですぐに仮想ディスクは利用可能となります。




ThinkSystem SR530 システム名:SR530-001


1 ディスク・ドライブディスク・アレ **2 仮想ディスクの作成** 3 要約


この選択

デフォルトでは、すべての容量を使用できる仮想ディスクが1つ作成されます。複数の仮想ディスクを作成する場合は、容量を変更できます。

仮想ディスク名	容量	ストライプ・サイズ	RAIDレベル	操作
VD_1	1115.72 GB	256 K	RAID 5	 +

仮想ディスクの編集

仮想ディスク名: VD_1 

容量: 1142500  MB I/Oポリシー: **ダイレクト**

ストライプ・サイズ: 256 K アクセス・ポリシー: **読み取り/書き込み**

読み取りポリシー: **先読みなし** ドライブ・キャッシュ: **無効**

デフォルト書き込みポリシー: **ライト・バック** **デフォルト初期化: 高速**

適用 キャンセル

< 戻る 次へ > キャンセル



RAIDセットアップ③

③ 戻った画面で「次へ」を押します

④ 仮想ディスクの情報を確認して「作成の開始」を押します

⑤ 仮想ディスクが作成され完了です

ThinkSystem SR530 システム名:SR530-001

1 ディスク・ドライブディスク・アレイの選択 2 仮想ディスクの作成 3 要約

デフォルトでは、すべての容量を使用できる仮想ディスクが1つ作成されます。複数の仮想ディスクを作成する場合は、容量を変更できます。

仮想ディスク名	容量	ストライプ・サイズ	RAIDレベル	操作
VD_1	1115.72 GB	256 K	RAID 5	

< 戻る **次へ >**

ThinkSystem SR530 システム名:SR530-001

1 ディスク・ドライブディスク・アレイの選択 2 仮想ディスクの作成 3 要約

要約を確認し、修正が必要な場合は戻ってください。

ディスク・アレイ

RAIDレベル	RAID 5
ドライブ数	3
ホット・スペア	0
合計容量	1115.72 GB
空き容量	0.00 GB

新規仮想ディスク

VD_1	1115.72 GB
------	------------

< 戻る **作成の開始**

ThinkSystem SR530 システム名:SR530-001

アレイ構成 ストレージ・インベントリ

編集モードです。 [読み取り専用モードに変更](#)

コントローラ 1: ThinkSystem RAID 930-8i 2GB Flash (1 仮想ディスク 作成されました) [コントローラ操作](#)

仮想ディスク 1: VD_1	+
1115.723GB	仮想ディスクの作成
ディスク・アレイ 0: RAID 5	



RAIDセットアップ④

- ドライブを搭載しているにもかかわらず仮想ディスクを作成できないドライブがありません、と表示されている場合はドライブの状態が「JBOD」である可能性があります。
- その場合は「ストレージ・インベントリ」を参照して「JBOD」を構成可能に変更します。

The screenshot shows the XClarity Controller interface for a ThinkSystem SR530. The left sidebar contains navigation options like 'ホーム', 'イベント', 'システム一覧', '使用率', 'リモート・コンソール', 'ファームウェア更新', 'サーバー構成', 'アダプター', 'ブート・オプション', '電源ポリシー', 'RAID セットアップ', 'サーバー・プロパティ', and 'BMC 構成'. The main area shows the 'ストレージ・インベントリ' (Storage Inventory) page, which is highlighted with a red box. Below this, a table lists '非 RAID ディスク・ドライブ' (Non-RAID Disk Drives) with columns for 'ディスク・ドライブ', 'ドライブの状態', 'タイプ', 'シリアル番号', '部品番号', 'FRU 部品番号', and '操作'. The 'ドライブの状態' column shows 'JBOD' for drives 2 through 5. A red box highlights the 'JBOD を構成可能に変更' (Change JBOD to RAID-capable) button. A dialog box titled 'JBOD を構成可能に変換' (Convert JBOD to RAID-capable) is open, showing a table of drives to be converted. The '適用' (Apply) button is also highlighted with a red box.

ディスク・ドライブ	ドライブの状態	タイプ	シリアル番号	部品番号	FRU 部品番号	操作
Drive 2	JBOD	600GB 10K 12Gbps SAS 2.5" HDD	W0M0EW3L	D7A01863	00YK014	[Edit]
Drive 3	JBOD	600GB 10K 12Gbps SAS 2.5" HDD	W0M0EV20	D7A01863	00YK014	[Edit]
Drive 4	JBOD	600GB 15K 12Gbps SAS 2.5" HDD	WAF07HS6	D7A01860	00YK011	[Edit]
Drive 5	JBOD	600GB 15K 12Gbps SAS 2.5" HDD	WAF06VZ5	D7A01860	00YK011	[Edit]
Drive 6	JBOD	900GB 15K 12Gbps SAS 2.5" HDD	WAG00NW7	D7A01861	00YK012	[Edit]



■ 「BMC構成」 — 「バックアップおよびリストア」

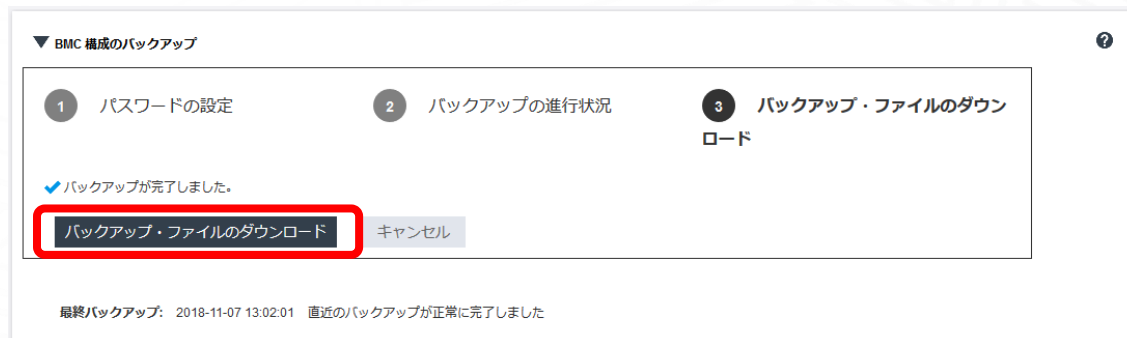


■ BMC構成のバックアップ

■ パスワードを設定して「バックアップを開始」を押します

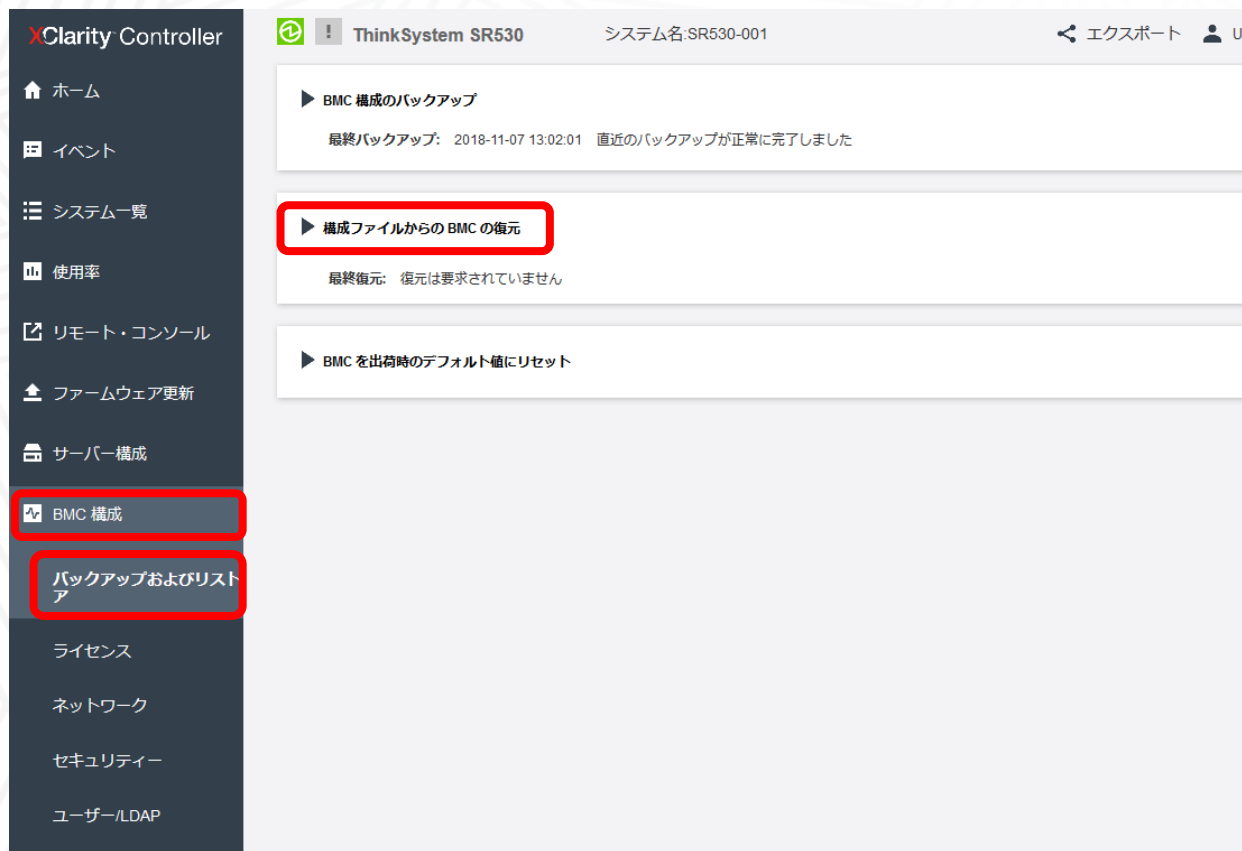


■ 「バックアップ・ファイルのダウンロード」を押します





■ 「BMC構成」 — 「バックアップおよびリストア」



■ 構成ファイルからのBMCの復元

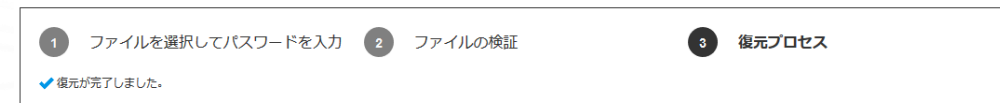
- 「参照」を押して保存してあるバックアップファイルを指定
- バックアップ時に指定したパスワードを入力して「次へ」



■ 「復元を開始」を押すと復元が開始されます



■ 復元が完了しました





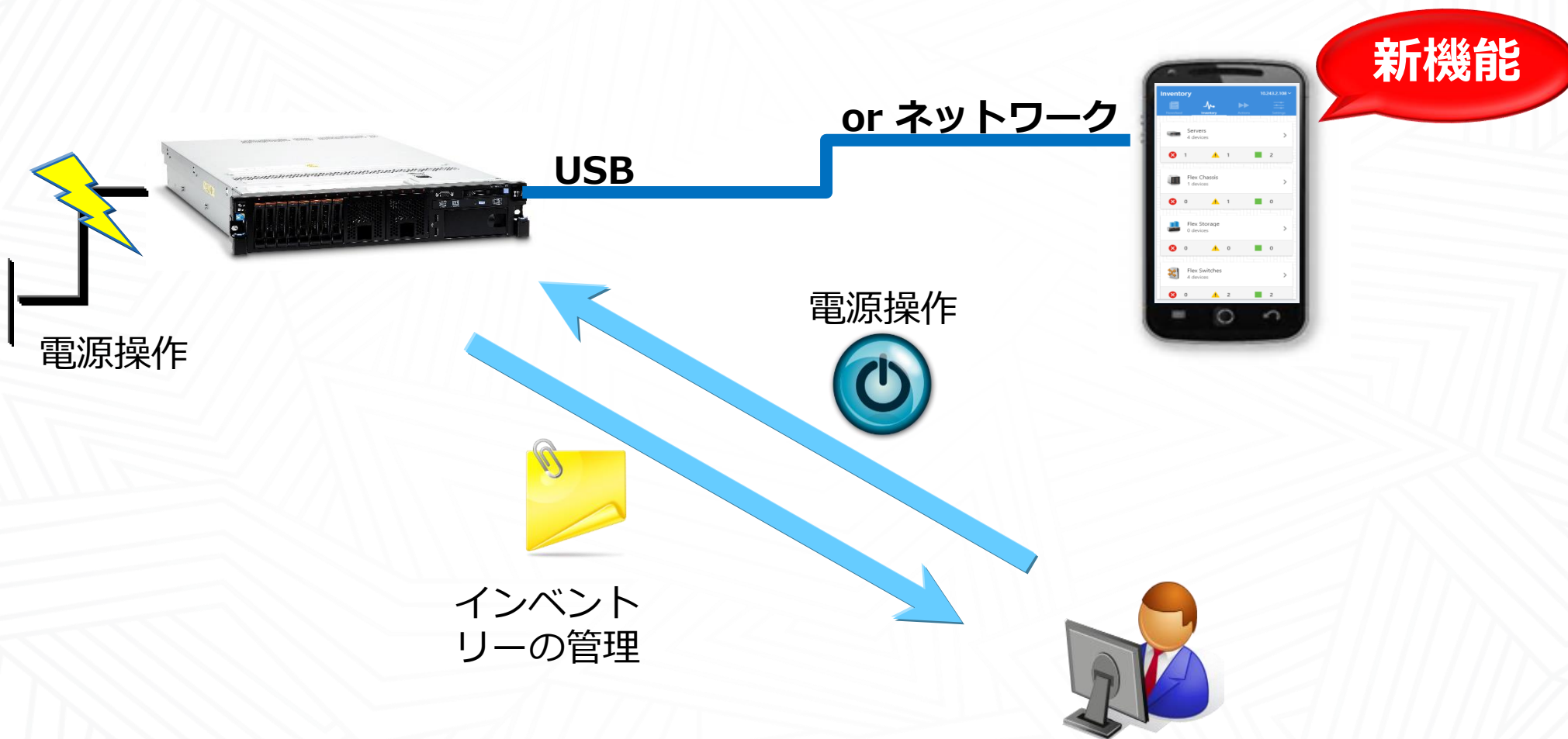
Lenovo XClarity™ Controller

運用管理



運用管理方法の概要


- XCCでは、遠隔地よりシステムに対してインベントリーの管理や電源操作などを追加ソフトウェアなどなしで行うことが可能です

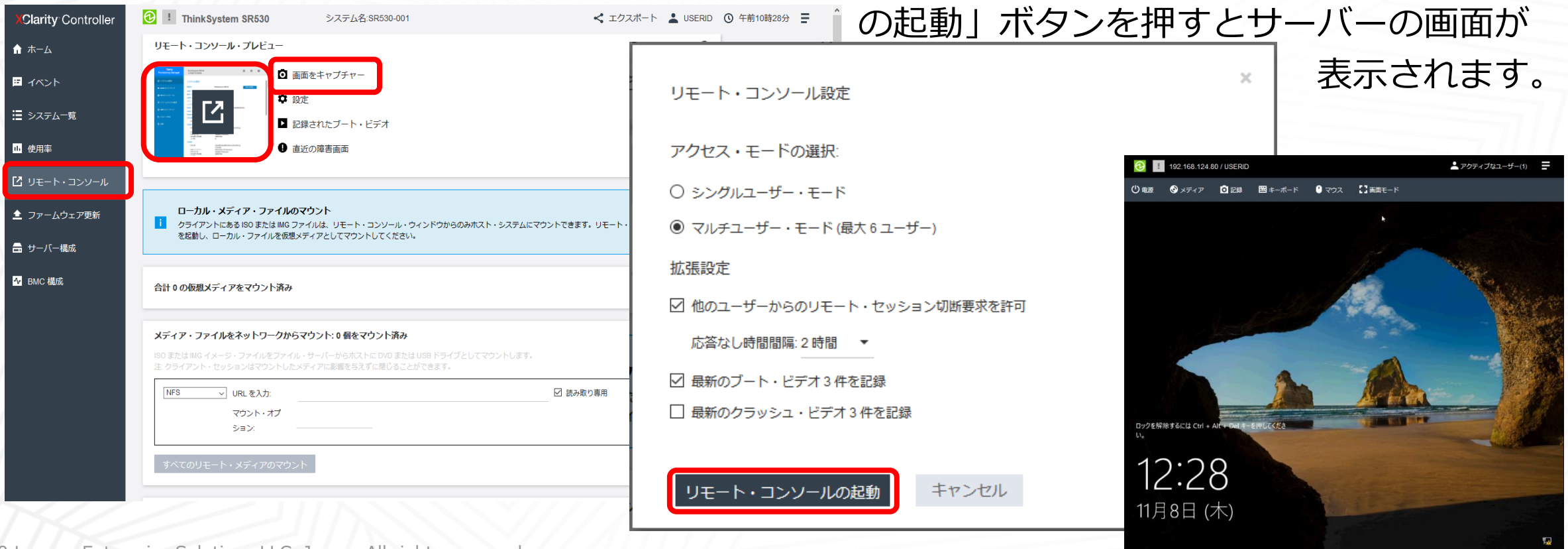


- 「ホーム」－「電源操作」を押すと現在可能な電源操作の一覧が表示されます。

The screenshot shows the XClarity Controller interface for a ThinkSystem SR530 server. The left sidebar contains navigation options like 'ホーム', 'イベント', 'システム一覧', '使用率', 'リモート・コンソール', 'ファームウェア更新', 'サーバー構成', and 'BMC構成'. The main content area displays system status (PCI, Power, Fans, System Board, Other HW) and a 'クイック操作' (Quick Actions) section. The '電源操作' (Power Operation) menu is highlighted with a red circle, showing various power management options such as 'サーバーの電源オン', 'OSをシャットダウン後、サーバー電源オフ', '今すぐサーバーを電源オフ', 'OSをシャットダウン後、サーバー再起動', '今すぐサーバーを再起動', 'サーバーをブートしてシステム・セットアップに入る', 'NMIを発生させる', '電源操作をスケジュール', and '管理コントローラを再起動'.

- 通常のサーバー電源オフ
 - シャットダウンして電源オフ
- 今すぐサーバーを電源オフ
 - シャットダウンせずに電源オフ
- サーバーをブートしてシステム・セットアップに入る
 - F1を押した時の状態になります
- 管理コントローラを再起動
 - XClarity Controller を再起動

- 「リモート・コンソール・プレビュー」に現在のサーバーの画面が表示されております。
- プレビュー画面は「画面をキャプチャ」でコンソールを起動しなくてもキャプチャ可能です。
- リモート操作するには表示されている画面の部分をポイントすると  が表示されますのでこちらをクリックします。
- リモート・コンソール設定の画面が表示されますので設定を確認して「リモート・コンソールの起動」ボタンを押すとサーバーの画面が表示されます。



The screenshot displays the XClarity Controller interface for a ThinkSystem SR530 server. The left sidebar shows navigation options, with 'リモート・コンソール' (Remote Console) highlighted. The main area shows the 'リモート・コンソール・プレビュー' (Remote Console Preview) section, which includes a '画面をキャプチャ' (Capture Screen) button and a '設定' (Settings) button. Below this, there are sections for 'ローカル・メディア・ファイルのマウント' (Local Media/File Mount) and 'メディア・ファイルをネットワークからマウント' (Mount Media/Files from Network). A modal window titled 'リモート・コンソール設定' (Remote Console Settings) is open, showing options for 'アクセス・モードの選択' (Select Access Mode) with 'マルチユーザー・モード (最大6ユーザー)' (Multi-user Mode (Maximum 6 Users)) selected, and '拡張設定' (Advanced Settings) including '他のユーザーからのリモート・セッション切断要求を許可' (Allow remote session termination requests from other users) and '最新のブート・ビデオ 3 件を記録' (Record latest 3 boot videos). The 'リモート・コンソールの起動' (Start Remote Console) button is highlighted. In the background, a preview window shows a desktop environment with a clock displaying 12:28 on November 8th (Thursday).



ISO,IMGイメージのマウント



- リモート・コンソール画面のメニューから「メディア」を押します。
- 表示された画面にて「アクティブにする」を押します。



- 参照ボタンを押し、イメージファイルを指定して「すべてのローカル・メディアのマウント」を押します。

- サーバーのローカルメディアとして利用可能となります





最新のブート・ビデオ

Enterprise
ライセンス

新機能

- 過去3回分のブートの様子が録画されており再生して見るすることができます。
- 「リモート・コンソール」 - 「記録されたブート・ビデオ」

ダウンロードするブート・ビデオを選択して保存します。

The screenshot shows the XClarity Controller web interface. On the left is a navigation menu with 'リモート・コンソール' (Remote Console) highlighted. The main area shows 'ThinkSystem SR530' with options for '画面をキャプチャ' (Capture Screen), '設定' (Settings), '記録されたブート・ビデオ' (Recorded Boot Videos), and '直近の障害画面' (Recent Error Screens). The '記録されたブート・ビデオ' option is circled in red. Below, a window titled '記録されたブート・ビデオ' shows a list of boot videos with a '再生するビデオを選択' (Select video to play) button circled in red.

- 自動で再生されます

記録されたブート・ビデオ

The screenshot shows a video player window titled 'boot_video_5.rvas(2019-06-26 10:15:53)'. The video content shows the 'ThinkSystem UEFI:POST INIT' screen. A red speech bubble with the text '再生中' (Playing) is overlaid on the video. At the bottom, there is a progress bar and a timestamp '00:00/00:56'.

「再生するビデオを選択」を押して保存済ファイルを指定してします。

ダウンロードするビデオを選択してください: boot_video_5.rvas 別のビデオを選択



直近の障害画面表示 (OS Failure Screen Capture)

- 「リモート・コントロール」－「直近の障害画面」を押すと直近に起きたOSの障害画面を表示できます

The screenshot shows the XClarity Controller interface for a ThinkSystem SR530. The left sidebar has 'リモート・コントロール' (Remote Control) highlighted. The main area shows 'リモート・コントロール・プレビュー' (Remote Control Preview) with a '直近の障害画面' (Recent Failure Screen) button circled in red. Below this, there's a section for 'ローカル・メディア・ファイルのマウント' (Mount Local Media/Files) and 'メディア・ファイルをネットワークからマウント: 0 個をマウント済み' (Mount Media/Files from Network: 0 mounted). A terminal window displays a VMware ESXi 5.5.0 crash dump with details like 'CrashMe', 'CPU', and 'VMK uptime'. A blue overlay box at the bottom right contains the message: '問題が発生したため、PC を再起動する必要があります。エラー情報を収集しています。再起動できます。(100% 完了)' (Due to an issue, you need to restart the PC. We are collecting error information. You can restart now. (100% complete)).



システムのインベントリ

- 「システム一覧」にてハードウェアの一覧が表示されます。
- 画面は下に長く続いておりスクロールして参照いただけます。また、右側にハードウェアの種類が表示されておりクリックすると参照したいハードウェアの位置に移動可能です。

システム名: SR530-001

クイック・リンク

- CPU
- DIMM
- ディスク
- PSU
- ファン
- PCI
- システム・ボード
- その他の HW
- SYS FW

CPU: 2/2 インストール済み

ソケット	モデル番号	最大コア	部品 ID
CPU 1	Intel(R) Xeon(R) Silver 4110 CPU @ 2.10GHz	8	3030 3431 3635 3330 (00416530)
CPU 2	Intel(R) Xeon(R) Silver 4110 CPU @ 2.10GHz	8	3030 3431 3635 3330 (00416530)

DIMM: 12/12 インストール済み

スロット	タイプ	容量	部品番号
DIMM 1	DDR4	8 GB	M393A1K43BB1-CTD
DIMM 2	DDR4	8 GB	M393A1K43BB1-CTD
DIMM 3	DDR4	8 GB	9ASF1G72PZ-2G6B1
DIMM 4	DDR4	8 GB	9ASF1G72PZ-2G6B1
DIMM 5	DDR4	8 GB	M393A1K43BB1-CTD
DIMM 6	DDR4	8 GB	M393A1K43BB1-CTD
DIMM 7	DDR4	8 GB	M393A1K43BB1-CTD
DIMM 8	DDR4	8 GB	9ASF1G72PZ-2G6B1
DIMM 9	DDR4	8 GB	M393A1K43BB1-CTD

システム名: SR530-001

ストレージ・デバイス

ベイ	タイプ	シリアル番号	部品番号	FRU 番号
Drive 0	900GB 15K 12Gbps SAS 2.5" HDD	WAG0020K	07A01851	00YK012
Drive 1	900GB 15K 12Gbps SAS 2.5" HDD	WAG0020J	07A01851	00YK012
Drive 2	600GB 10K 12Gbps SAS 2.5" HDD	W0M0E03L	07A01853	00YK014
Drive 3	600GB 10K 12Gbps SAS 2.5" HDD	W0M0E020	07A01853	00YK014
Drive 4	600GB 15K 12Gbps SAS 2.5" HDD	WAF07H95	07A01850	00YK011
Drive 5	600GB 15K 12Gbps SAS 2.5" HDD	WAF06V25	07A01850	00YK011
Drive 6	900GB 15K 12Gbps SAS 2.5" HDD	WAG00N0V7	07A01851	00YK012


アレイド構成: 1 仮想ディスク, 837.259GB

ファン: 6/6 アクティブ

名前	最大速度 (RPM)	回転数 (最大に対する %)
Fan 1 Tach	24900	26%
Fan 2 Tach	24900	27%
Fan 3 Tach	24900	27%
Fan 4 Tach	24900	27%
Fan 5 Tach	24900	28%
Fan 6 Tach	24900	34%



イベント・ログ

- 「イベント」にてハードウェアのイベント・ログや監査ログを確認することができます。
- フィルタリング機能により該当するログをすばやく確認することが可能です。
- 「エクスポート」アイコンをクリックすることにより、ログをファイルに出力することも可能です。

索引	重大度	ソース	イベントID	メッセージ	日付
0	I	ディスク	FQXSPSD00001	Drive 0 が追加されました。	2018年11月8日午後...
1	I	ディスク	FQXSPSD00001	Drive 1 が追加されました。	2018年11月8日午後...
2	I	電源	FQXSPPW2008I	Host Power が電源オンにな...	2018年11月8日午後...
3	I	電源	FQXSPPW0008I	Host Power が電源オフにな...	2018年11月8日午後...
4	I	システム	FQXSPBR4006I	ユーザー SN# J30019BB による手動コール・ホーム: USERID	2018年11月7日午後...
5	I	システム	FQXSPSD2003I	ThinkSystem SR530 でホット・スペアが無効になりました。	2018年11月7日午前1...
6	I	ディスク	FQXSPSD2000I	Drive 1 がユニット disk or disk bay 1 から取り外されました。	2018年11月7日午前1...
7	I	ディスク	FQXSPSD2000I	Drive 0 がユニット disk or disk bay 0 から取り外されました。	2018年11月7日午前1...
8	I	電源	FQXSPPW2008I	Host Power が電源オンになっています。	2018年11月7日午前1...
9	I	電源	FQXSPPW0008I	Host Power が電源オフになっています。	2018年11月7日午前1...
10	I	システム	FQXSPNM4028I	ENET[CIM.ep1] IPv6-LinkLocal.HstName=XCC-7X08-J30019BB、IP@=fe80::0a94.e...	2018年11月6日午後...
11	I	電源	FQXSPPW2008I	Host Power が電源オンになっています。	2018年11月6日午後...
12	I	電源	FQXSPPW0008I	Host Power が電源オフになっています。	2018年11月6日午後...
13	I	システム	FQXSPSD0003I	ThinkSystem SR530 でホット・スペアが有効になりました。	2018年11月6日午後...
14	I	システム	FQXSPNM4028I	ENET[CIM.ep2] IPv6-LinkLocal.HstName=XCC-7X08-J30019BB、IP@=fe80::0a94.e...	2018年11月6日午後...

監査ログの表示

索引	重大度	ソース	イベントID	メッセージ	日付
0	I	システム	FQXSPSE4032I	IP アドレス 192.168.124.101 の vMedia からのログイン ID USERID がログオフしま...	2018年11月8日午後...
1	I	システム	FQXSPSE4001I	リモート・ログインに成功しました。IP アドレス 192.168.124.101 の vMedia の the ...	2018年11月8日午後...
2	I	システム	FQXSPM4004I	オペレーティング・システムのステータスがオンラインに変更されました。	2018年11月8日午後...
3	I	システム	FQXSPDM4009I	ユーザー LXPM が Local からのファイル ldm_image.img をアンマウントしました。	2018年11月8日午後...
4	I	システム	FQXSPDM4009I	ユーザー LXPM が Local からのファイル ldm_image.img をマウントしました。	2018年11月8日午後...
5	I	システム	FQXSPDM4009I	ユーザー LXPM が Local からのファイル ldm_image.img をアンマウントしました。	2018年11月8日午後...
6	I	システム	FQXSPDM4009I	ユーザー LXPM が Local からのファイル ldm_image.img をマウントしました。	2018年11月8日午後...
7	I	システム	FQXSPPP4025I	電源プッシュボタンを介してサーバーに電源が入りました。	2018年11月8日午後...
8	I	システム	FQXSPM4036I	サーバーがプッシュボタンを介して電源オフされました。	2018年11月8日午後...
9	I	システム	FQXSPDM4009I	ユーザー LXPM が Local からのファイル ldm_image.img をアンマウントしました。	2018年11月8日午後...
10	I	システム	FQXSPSE4001I	リモート・ログインに成功しました。IP アドレス 192.168.124.101 の vMM の the st...	2018年11月8日午後...
11	I	システム	FQXSPSE4001I	リモート・ログインに成功しました。IP アドレス 192.168.124.101 の web の the st...	2018年11月8日午後...
12	I	システム	FQXSPSE4032I	IP アドレス 192.168.124.101 の web からのログイン ID USERID がログオフしまし...	2018年11月8日午前...
13	I	システム	FQXSPSE4001I	リモート・ログインに成功しました。IP アドレス 192.168.124.101 の web の the st...	2018年11月8日午前...
14	I	システム	FQXSPSE4032I	IP アドレス 192.168.124.101 の web からのログイン ID USERID がログオフしまし...	2018年11月7日午後...



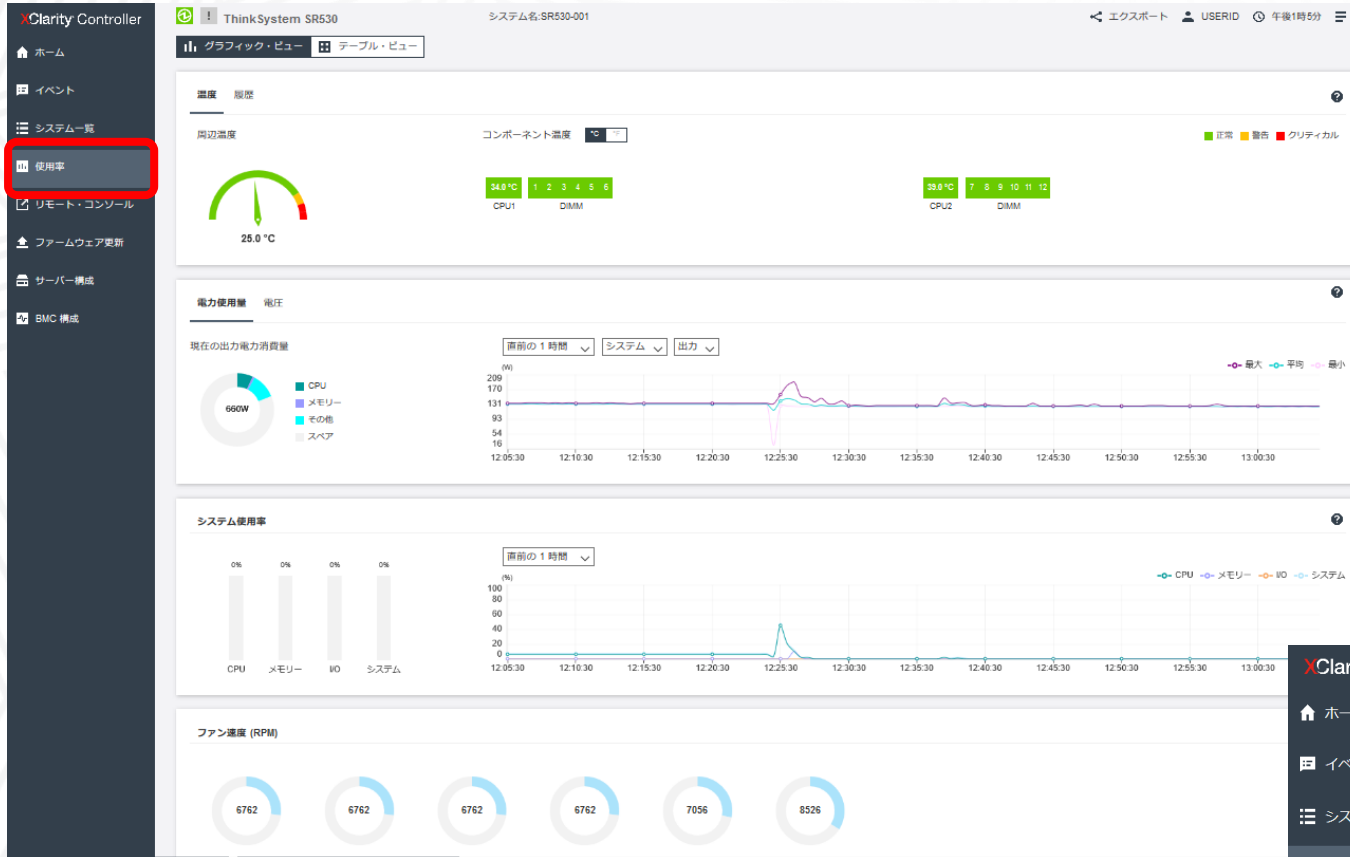
使用率

■ 以下の状況をグラフィカルに表示可能

- 現在の温度の状態および履歴
- 電力の使用量および電圧の状態
- CPU、メモリー、I/Oの使用率
- ファンの回転数

■ テーブル・ビューにて数字表示可能

■ 「 エクスポート」よりファイルに出力可能



The screenshot shows the 'テーブル・ビュー' (Table View) for temperature data. The 'テーブル・ビュー' tab is highlighted in the top navigation bar. The table below displays temperature data for various sources.

ソース	値 (°C)	センサー状況	ノンクリティカルなしきい値	クリティカルなしきい値	リカバリー不能なしきい値
Ambient Temp	25.0	■ 正常	43.0	47.0	50.0
CPU1 Temp	34.0	N/A	N/A	N/A	N/A
CPU2 Temp	39.0	N/A	N/A	N/A	N/A
Exhaust Temp	38.0	N/A	N/A	N/A	N/A



- 「サーバー」 — 「電源ポリシー」にて電源管理機能の設定を行うことができます。

ThinkSystem SR530 システム名:SR530-001

電源冗長化設定

	推奨使用率	合計電力容量	パワー・サブライ障害制限
<input checked="" type="radio"/> 冗長 (N+N)	36%	660W	1
<input type="radio"/> 冗長性なし	22%	1100W	0

電源キャッピング・ポリシー

有効にする 無効にする

使用 電源キャッピング:

値の選択 手動で入力

ワット 注: 最大電力供給量を手動で設定すると、実際の電力容量 (

電源復元ポリシー

- 常にオフ
電源が復元されてもシステムはオフのままです。
- 復元
電源障害が発生する前と同じ状態にシステムを復元します。
- 常にオン
電源が復元されるとシステムの電源が自動的にオンになります。

電源冗長化設定

- 冗長性なしモードでは、1つの電源が失われた場合、サーバーが継続して稼働できない可能性があります。また、電源に障害が発生すると、サーバーの稼働を継続させるため、サーバーのスロットルが行われる可能性があります。

電源キャッピング・ポリシー

- サーバーによって使用される電力量を制限する選択を行うことができます。スライダーのマークを目的のワット数に移動させ、サーバー全体の電力制限を設定します。

電源復元ポリシー

- 電源喪失後に電源が復元したときにサーバーがどのように対応するかを構成することができます。

+ XClarity Mobileアプリによる管理

新機能


- ネットワーク接続でリモートから管理、およびUSB接続によるローカルでの管理
- 監視対象のインベントリ、ステータス、ログ、アラート情報の詳細を確認

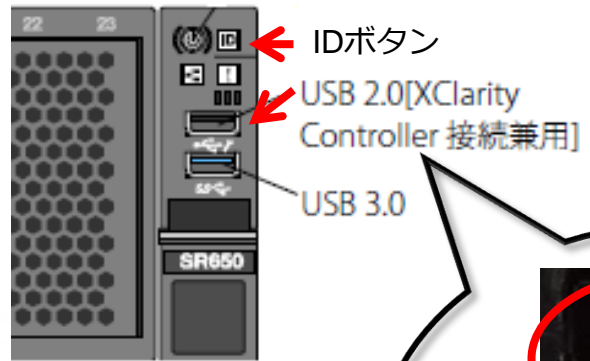
ローカル管理手順

① Google Play や Apple App Store からアプリをダウンロードします



•Android 5.0以降
•iOS 9、10 以降

② IDボタンを3秒以上長押しし青色点滅状態になりましたらUSBポートに接続します



+ XClarity Mobileアプリによる管理



ローカル管理では従来の前面LCDパネルに代わる機能となります

ローカル管理手順 (続)

③ スマートフォンの設定から「USBテザリング」を有効にします



④ Lenovo XClarity Mobileアプリを起動します



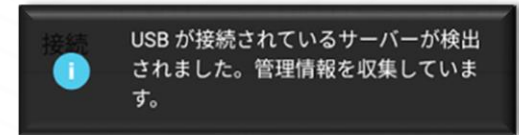
⑤ USB記号を押します



⑥ 「検出」を押します



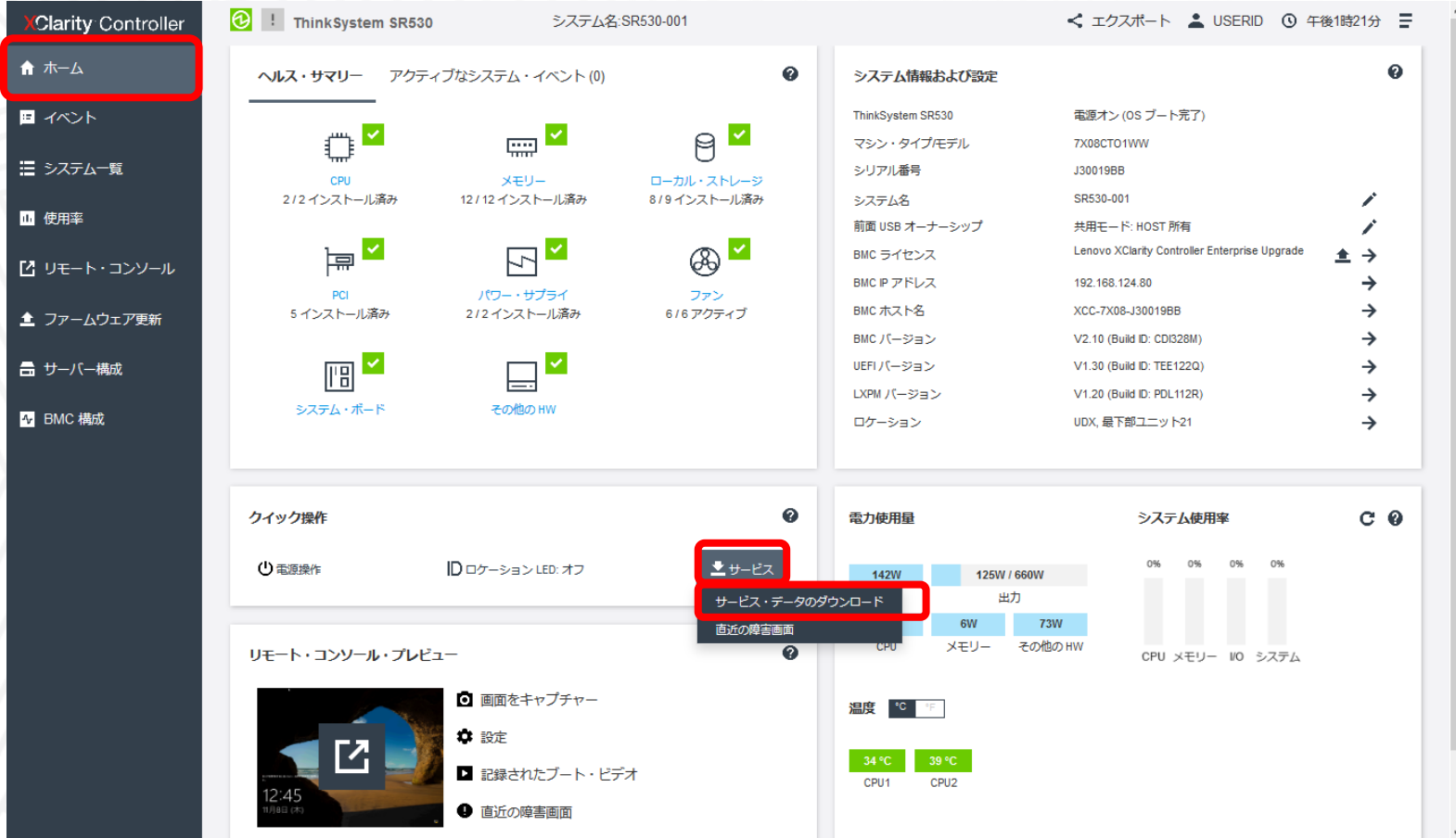
⑦ 検出されましたというメッセージが表示されサーバーの状況を確認できるようになります





サービス・データのダウンロード

サーバーの問題の特定するため、または Lenovo サポートの依頼によって、詳細な分析に使用できるサービス・データを収集する必要がある場合があります。サービス・データには、イベント・ログやハードウェア・インベントリなどの情報が含まれます。



- ホーム画面にて「サービス」→「サービス・データのダウンロード」

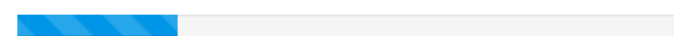
- 確認画面が表示されますので「OK」を押します

サービス・データをダウンロードしてもよろしいですか? 数分間かかる場合があります。

OK キャンセル

- ダウンロードが完了してから保存場所を指定して保存します

サービス・データをダウンロードしています...





管理ポートのフェイルオーバー設定

システム管理専用ポートから共有ネットワーク・ポートへフェイルオーバーの設定をすることができます。

この設定はXCCのWebインターフェースにはございません。サーバー起動時にF1を押してLXPMに入ります。

「UEFIセットアップ」 - 「BMC設定」 - 「ネットワーク設定」 - 「フェイルオーバー・ルール」を「フェイルオーバー共有」に設定し、「ネットワーク設定を保存」ボタンを押します。

機種により
フェールオーバー共有は
(オンボード・ポート)
の場合と
(オプションカードPHY) と
表示場合があります。

共有ネットワーク・ポートは
オンボードの場合はポート 1、
LOMがオプションの場合は一
番左のポートとなります。

この機能をご利用になる場合はXCCの最新
ファームウェアを適用して下さい。
XCC cannot be accessed from dedicated
port after failover to the shared NIC
<https://support.lenovo.com/jp/en/solution/s/ht510765-xcc-cannot-be-accessed-from-dedicated-port-after-failover-to-the-shared-nic-lenovo-thinksystem>



Lenovo™

XClarity™ Controller 参考資料

製品紹介ページ

XClarity Controller :

<http://www3.lenovo.com/jp/ja/data-center/software/systems-management/xclarity-controller/>

XClarity Mobile :

iOS : <https://itunes.apple.com/jp/app/lenovo-xclarity-mobile/id1023231345?mt=8>

Google Play : <https://play.google.com/store/apps/details?id=com.lenovo.xmobile&hl=ja>

マニュアル

オンラインマニュアル

Lenovo XClarity Controller

http://sysmgt.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.systems.management.xcc.doc/product_page.html?cp=2

PDFマニュアル

Lenovo XClarity Controller ユーザーズ・ガイド

http://sysmgt.lenovofiles.com/help/topic/com.lenovo.systems.management.xcc.doc/xcc_book.pdf



Lenovo™

XClarity™ Controller 更新履歴

2020/07/10	管理ポートのフェイルオーバー設定を追加、社名変更
2019/02/19	FirmwareアップデートによるGUIの更新(グレーメニュー)
2018/03/01	ユーザー追加、サービスデータのダウンロード 手順を追加
2018/02/07	FirmwareアップデートによるGUIの更新



免責

当内容は、お客様、販売店様、その他関係者が、ThinkSystem、ThinkAgileなどを販売促進および活用していただくことを目的として作成しました。

詳細につきましては、URL (<https://www.lenovo.com/jp/ja/legal/>)の利用条件をご参照ください。

当資料に含まれるレノボ・エンタープライズ・ソリューションズ合同会社およびLenovo Enterprise Solutions (以下総称して、LES) 以外の製品に関する情報は、各提供ベンダーより提供されたものであり、LES はその正確性または完全性についてはいかなる責任も負いません。

記載内容は作成時点の情報に基づき作成しています。予告なしに変更や削除することがございます。

当資料の個々の項目は、LESにて確認・検証されていますが、お客様の環境において全く同一または同様な結果が得られる保証はありません。お客様の環境、その他の要因によって異なる場合があります。お客様の環境へ適用される場合は、お客様ご自身の責任と費用において行なってくださいますようお願いいたします。

Copyright 2020 レノボ・エンタープライズ・ソリューションズ合同会社



thanks.

